



町の未来が見えてくる
議会だより

いの

第81号

11月(第1回)臨時会
12月(第4回)定例会
令和7年1月22日発行

●主な内容

令和6年第1回臨時会

P 2 令和6年度一般会計補正予算(第4号)の専決処分の報告及び承認に関する議案

令和6年第4回定例会

P 3 令和6年度一般会計補正予算(第6号)議定に関する議案
P 4 令和6年度病院事業会計補正予算(第2号)議定に関する議案
P 5 常任委員会・特別委員会の活動報告
P 6 議案などの賛否一覧表
P 8 一般質問(議員13人が町政を問う)

保護者会いちごサークル企画
「フラワーフェスタ」(ぐりぐらひろば)

11月5日

令和6年 第1回臨時会

議案4件・報告1件が執行部から提出され、原案通り可決した。

注目の議案

令和6年度一般会計補正予算(第4号)の専決処分

・歳入歳出それぞれ3,270万円を追加し、累計予算額152億2,080万円とするもの

令和6年度一般会計補正予算(第5号)の専決処分

・歳入歳出それぞれ2,020万円を追加し、累計予算額152億4,100万円とするもの

.....

12月2日~13日

令和6年 第4回定例会

議案16件・報告2件が執行部から提出され、原案通り可決した。他に発議が3件提出され可決された。

注目の議案

令和6年度一般会計補正予算((6号))

・歳入歳出それぞれ1億4,310万円を追加し、累計予算総額153億8,410万円とするもの

指定管指理者の指定

・波川にここ館食材供給施設に係る指定管理者の指定
指定管理者名称 にここ倶楽部

質疑・討論

□令和6年第一回臨時会

(議案第94号)

令和6年度一般会計補正
予算(第5号)

公正な選挙を行うために
必要な経費(人件費)

問 池沢議員

は。特別職270万6000円の内訳

答 土居総務課長

選挙管理委員会委員の報酬が12万円、投票管理者・開票管理者・期日前管理者が91万1000円。投票立会人が158万6000円、開票立会人が8万9000円。

□令和6年第4回定例会

(議案第98号)

移住定住促進住宅の設置
及び管理

本川に来て、住んでほしい

問 池沢議員

「第12条軽微な…」とあるが、この修繕費用の上限額の設定は、あるのか。

答 伊東本川総合支所長

ない。

第16条（不使用の届出）の
説明を

問 山田議員

第16条の目的は、あらかじめ15日間使用しない届出ができていなかった場合の取り扱い。

答 伊東本川総合支所長

正当な理由がなく長期間

使用しない入居者に対して引き続き使用を認めるべきではないという趣旨の条文。このような場合、無断

承継や転貸、その他の不正入居を伴いやすいことも予想される、と考えての規定だ。

もし、短期間使用しない予定だったが15日以上になった場合、事情を聞き、柔軟に対応する。

(議案第100号)

特別養護老人ホームの設置
及び管理

利用者の安全は守られるか

問 池沢議員

介護福祉施設の入所定員を90人から95人、短期入所生活介護及び介護予防短期入所生活介護（ショートステイ）の定員を10人から5人とする改正だ。この改正による職員の増員は、フルタイムの会計年度任用職員1人ということだが、令和6年度夜間帯において、入所者の事故があったと議会

へ報告があっている。この職員の増員の根拠は。

答 岡田借楽荘所長

職員数は、国の基準を満たしている。夜勤が可能な職員を雇用することにより、全体の夜間業務の負担軽減につながる。

(議案第102号)

令和6年度一般会計補正
予算（第6号）

安全な通学路へ

問 福井議員

繰越明許費、土木費、社会資本整備総合交付金事業（町道諸枝是友線）900万円。沖田地区の歩道沿い水路への転落防止パイプガードの設置計画について。
①今後のスケジュールと工期の予定と設置区間は。
②施工時の通行者や学生の安全確保は。

答 尾崎土木課長

①追加補正がつき次第発注し、令和6年度末に契約し着工予定。工期は令和7年夏までの竣工を目指す。設置区間は、伊野中学校グラウンド北側出入り口から東へ、路面から高さ110cmを未設置区間約240mでの施工。
②必要な場合は、交通誘導員を配置し通行者の安全を確保する。

新たな視点での事業（取り組み）の精査が必要

問 池沢議員

①町長交際費18万円増額（年間83万円）は、物価高騰、回数の増ということだが、議長交際費の増は上がってきてない。
②町長のみの交際費にしか使わない、で間違いないか。

答 土居総務課長

①町の方針に従い行っている。
②町を代表して、必要な交

際費を支出している。

問 池沢議員

紙の博物館、工事請負費3691万6000円（空調改修工事）減額の理由は。計画性がなかったのか。

答 尾崎産業経済課長

天井調査により、図面での確認しかできていないことが分かった。建築から40年経過しており今年度予定工事は全て中止。

令和7年度展示室設計、令和8年度空調・展示室の工事予定。そうすることによりデジタル田園都市国家構想推進交付金事業が財源となる。

ふるさと納税システム使用料の削減は

問 山田議員

諸費として、ふるさと納税記念品1850万円に対して、発送料とシステム使用料で計1900万円かかっている。システム使用料1250万円の削

減はできないか。

答 筒井総合政策課長

システム使用料は、ふるさと納税の各サイトに掲載し、そこから寄付の申し込みがあった分につき一定の手数料割合で支払っている。

実績により各サイトの利用料率に占める割合を乗じて積算をしているが、使用料についてはサイト側で全国的に出されているものであるため町努力での削減は難しい。

(議案第106号)

令和6年度特別養護老人ホーム特別会計補正予算(第2号)

予算(人件費)計上は適切に、遅れないように

問 池沢議員

会計年度任用職員27万7000円のうち一人については、補正予算計上できていなかった、ということだが、支

払いはどうしていたのか。

答 岡田偕楽荘所長

既決予算で対応した。精査が十分でなかった。

(議案第109号)

令和6年度病院事業会計補正予算(第2号)

市町村国保ヘルスアップ事業とは

問 山田議員

収益的収入の医業外収益に、市町村国保ヘルスアップ事業とあるが説明を。

答 鍋島仁淀病院事務長

個人ごとにデータをまず蓄積をし、それを基に地域ごとに広げていき、面的な健康づくりをしていくもの。

パーソナルヘルスレコードとして、個人が自己の健康状態について記録ができるスマホソフトを配布し、朝の血圧や体温、当日の運

動時間など記録してもらう。

このデータを持ち寄り分析し、傾向を読み取り、どのように健康づくりや、運動習慣を進めていくかなど検討するための事業を今年度から始める。

赤字が増え続けるのか

問 池沢議員

①令和6年度赤字見込み額、一般会計からの基準外繰入金の見込み額は、いくらと予想されるのか。
②令和5年度決算での赤字は。

答 鍋島仁淀病院事務長

①令和6年度決算見込みについては、来年度予算を見込むなかで併せて精査していく。今の時点で8900万円の赤字だ。今後給与改定分が上乗せされ、一般会計からの基準外繰り入れについては、その必要性和ともに役場の財政と協議を重ねる。
②1億5400万円余。

反対討論

池沢議員

令和6年1月作成の「いの町立国民健康保険仁淀病院経営強化プラン」13ページ対象期間中の収支計画表に、一般会計から仁淀病院への基準外繰出金の欄・項目がない、記載されていないことをただした。

令和5年8月時点のものだから、基準外繰り出しは入っていない、と答弁があった。その後の基準外繰出金を入れたきちんとした収支計画表の作成時期についての私と町長のやりとりのなかでの町長答弁が、誠実にかけられていることが今回わかった。真摯に向き合っているとは、言い難い。そのような姿勢で提案しているものには反対する。血税は、納税者全体に対し公平に使われるべきだ。

賛成討論

井上(敏)議員

町長答弁や対応のいかんにかかわらず、補正予算が不成立なら病院を利用する患者や職員にも多大な迷惑をかけ、また、病院経営にも大きな影響を与える。

地方公営企業法第17条2―3では、繰り出し決定の指標は、病院経営に支障が出ないよう行うことが基本である、とあり違法性はない。赤字計上の要因の一つは、令和4―5年の2年間で、職員給与が、人事院勧告により約6070万円もの急激なアップがある。

さらに、令和6年度も給与アップの勧告があり、収益に対する人件費の割合が高く、ますます病院経営が厳しくなる。それ故に、患者や職員など種々の要因を分析のうえ、経営改革に向け慎重に取り組む必要がある。

(議案第110号)

波川にここに館食材供給
施設に係る指定管理者の
指定

公募し、一者の応募あり

問 池沢議員

前は、公募によらない
指定管理者選考だったが、
今回、公募したのはなぜか。

答 尾崎産業経済課長

前は、運営していた団
体が、公共的団体であると
判断し公募をしなかった。
今回は、令和7年3月に
その団体が解散のため、新
たに公募し選考した。

議員発議案

(発議第6号)

いの町議会議員の請負の
状況の公表に関する条例

提出者 浜田 孝男
賛成者 森 みきお

(発議第8号)

精神障がい者に対する福
祉医療費助成制度の早期
創設を求める意見書

提出者 山崎 きよ
賛成者 森 みきお

【提出の理由】(原文)

高知県は精神障がい者の
精神科医療の入院費及び精
神科以外の一般医療の通
院・入院費に対する福祉医
療費助成制度が実施されて
おらず、医療費の自己負担
分を助成する市町村の独自
制度である福祉医療費助成
制度・重度心身障害者医療
費助成制度は、身体・知的障
がいには適用されているが、
精神障がいには適用されて
いないことが多いため、早期
の制度創設を求める。

意見書

(発議第7号)

学校の業務量に見合った
教職員配置、長時間労働
を抑制するため教員に残
業代を支給可能とする給
特法の改正、新たな職の
創設に対して慎重審議を
求める意見書



常任委員会・

特別委員会の活動報告

仁淀川流域治水整
備促進対策特別委
員会

□10月9日

議題

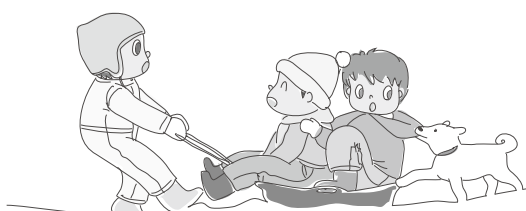
- ①令和5年10月12日「仁淀川流域治水整備促進対策特別委員会」開催以降の流域治水の動向について
 - ②「仁淀川水系河川整備計画」の変更について
 - ③「安全に逃げる」取り組みについて
 - ④その他仁淀川流域治水整備促進対策特別委員会運営に係る協議事項の件
- 執行部からの説明を受け
た後、質疑応答を実施。

仁淀病院運営特別
委員会

□11月14日

議題

- ①仁淀病院の経営方針等について
 - ②その他仁淀病院運営特別委員会にかかる運営事項協議の件
- 執行部からの説明を受け
た後、質疑応答を実施。



令和6年第1回臨時会(11月)で議決された 議案などの賛否一覧表

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 棄：棄権 △：議長 ☆：除斥

●全会一致の議案

	井上 敏雄	伊東 ひさたけ	山崎 きよ	山岡 勉	浜田 孝男	福井 英人	山田 卓彦	山岡 寿	井上 正臣	山本 莊一郎	大原 りえ	森 みきお	高橋 幸十郎	筒井 一水	森本 せつこ	池沢 のりこ	藤崎 憲裕	筒井 公二	可否
議案第93号	令和6年度いの町一般会計補正予算(第4号)の専決処分の報告及び承認に関する議案																		可
議案第94号	令和6年度いの町一般会計補正予算(第5号)の専決処分の報告及び承認に関する議案																		可
議案第95号	令和6年度町営住宅枝川団地改修工事(機械設備)の請負契約の締結に関する議案																		可
議案第96号	監査委員の選任に関する議案																		可

令和6年第4回定例会(12月)で議決された 議案などの賛否一覧表

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 棄：棄権 △：議長 ☆：除斥

●賛否の分かれた議案

	井上 敏雄	伊東 ひさたけ	山崎 きよ	山岡 勉	浜田 孝男	福井 英人	山田 卓彦	山岡 寿	井上 正臣	山本 莊一郎	大原 りえ	森 みきお	高橋 幸十郎	筒井 一水	森本 せつこ	池沢 のりこ	藤崎 憲裕	筒井 公二	可否
議案第109号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	△	可
	令和6年度いの町病院事業会計補正予算(第2号)議定に関する議案																		

●全会一致の議案

議案第97号	いの町長及び副町長の給料の減額に関する条例の専決処分の報告及び承認に関する議案																		可
議案第98号	いの町移住定住促進住宅の設置及び管理に関する条例議案																		可
議案第99号	いの町行政組織条例の一部を改正する条例議案																		可
議案第100号	いの町特別養護老人ホームの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例議案																		可
議案第101号	いの町排水設備工事指定業者に関する条例の一部を改正する条例議案																		可

●全会一致の議案

議案第102号	令和6年度いの町一般会計補正予算（第6号）議定に関する議案	可
議案第103号	令和6年度いの町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）議定に関する議案	可
議案第104号	令和6年度いの町国民健康保険特別会計（直診勘定）補正予算（第1号）議定に関する議案	可
議案第105号	令和6年度いの町介護保険特別会計補正予算（第2号）議定に関する議案	可
議案第106号	令和6年度いの町特別養護老人ホーム特別会計補正予算（第2号）議定に関する議案	可
議案第107号	令和6年度いの町水道事業会計補正予算（第2号）議定に関する議案	可
議案第108号	令和6年度いの町下水道事業会計補正予算（第2号）議定に関する議案	可
議案第110号	波川にこここ館食材供給施設に係る指定管理者の指定に関する議案	可
議案第111号	町道の路線廃止に関する議案	可
議案第112号	町道の路線認定に関する議案	可
発議第6号	いの町議会議員の請負の状況の公表に関する条例	可
発議第7号	学校の業務量に見合った教職員配置、長時間労働を抑制するため教員に残業代を支給可能とする給特法の改正、新たな職の創設に対して慎重審議を求める意見書	可
発議第8号	精神障がい者に対する福祉医療費助成制度の早期創設を求める意見書	可

議会日誌

10月1日(火) いの町合併二十周年記念式典、祝賀会
7日(月) 議会広報特別委員会
9日(水) 仁淀川流域治水整備促進対策特別委員会
11日(金) 議会広報特別委員会
21日(月) 議会運営委員会
25日(金) 令和6年度トップセミナー
30日(水) 東京都西多摩郡日の出町議会総務まちづくり常任委員会行政視察来町
31日(木) 四国地区町村議会議長会研修会(香川県)

11月1日(金) 議会運営委員会
5日(火) 令和6年第1回臨時会
11日(月) 建設産経常任委員会
〃 民生環境常任委員会

11月12日(火) 県選出国會議員と町村議会議長との懇談会(東京都)
13日(水) 第68回町村議会議長全国大会(東京都)
〃 令和6年度町村議会議長会全国研修会(東京都)
14日(木) 仁淀病院運営特別委員会
15日(金) 議員行政実務研修(高知市)
22日(金) 仁淀消防組合議会第3回臨時会
25日(月) 仁淀川広域市町村圏事務組合議会第2回定例会
28日(木) 議会運営委員会

12月2日(月)～13日(金) 令和6年第4回定例会
20日(金) 第3回吾川郡町村議会議長会
25日(水) 仁淀消防組合議会第2回定例会

天王地区の防災・減災

質問Ⅱ第2次スクリーニングについて 答弁Ⅱ地盤調査や安定計算を引き続き行う



山田 卓彦 議員

大規模盛土造成地の滑動崩落の予防対策として『安全性把握のための調査（第2次スクリーニング）』を行っているが、令和6年の雨季を経ての調査結果は。

尾崎土木課長

令和5年度より、天王北3丁目から天王南7丁目にかけて、詳細な地質ボーリング調査と、令和5年12月から令和6年8月末までの出水期における雨量と地下水位の観測を実行。その得たデータにより、大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドラインに基づいた

安定計算を実施した結果、当該盛土については常時・地震時ともに非常に高い値の安全率を示したので「活動崩落の恐れがない」と判断している。

天王南6丁目からテニスコ場にかけては、ボーリング調査後の令和6年度9月以降十分な雨量データが得られず、令和7年度に引き続き水位観測を実施予定。

今後は、令和4年度に実施した第2次スクリーニング計画を基に、今年度実施した詳細な地盤調査や安定計算を引き続き行う。

隣接地域への路線確保は

山田議員

水害で、陸の孤島を何度か経験している天王地区だが、大規模地震を想定し、被災時にも安全・安心して通行できる隣接地域への路線の整備・確保は。

線の整備・確保は。

尾崎土木課長

天王地区から隣接地域への接続路線、県道高知土佐線は、大規模地震などの甚大な被害を想定し、負傷者の救援救出や支援物資などの受け入れを迅速に行えるよう、優先して通行を確保すべき防災拠点やルートを定めた「高知県道路啓開計画」が策定されている。

同計画では、落石や崩壊、液状化などの被害が想定される中、啓開日数短縮のための対策として、法面の再調査や橋梁の耐震化などが示されており、災害発生後72時間以内で啓開することに努めるとされている。

県はさらに、高知県建設業協会や国土交通省と「南海トラフ地震発生時の道路啓開に関する協定」を締結するなど、取り組みを進めている。

また、高知市へ接続している町道芳ヶ曾線についても、災害時の迂回路として道路整備を行っている。バーガ森を抜ける農道も

含め、町が管理する道路では、大規模災害における道路啓開として、町と町内各建設業協会との間に、いの町内において災害が発生した場合、速やかな災害復旧を図ることを目的として「災害時の応急対策活動協力に関する協定」を締結。被災により発生した崩土除去や路面清掃、倒木処理などの応急活動を速やかに実施する。

今後も事前防災対策として、平時から適切な道路維持管理に努め、県とも情報共有を図りながら、安全・安心な通行の確保に努める。

行政報告について

山田議員

令和6年第4回定例会中の行政報告抜かりで、改めて問う。報告は何のため、誰に向けてするのか。

池田町長

行政報告は行政執行上の重要な事項の概要や処理経

過を報告するもので、町民の代表である議会を通じて町民への報告を目的とし、議会定例会で実施している。

副町長の人事案提出ができず、不在に関して、議案送付前に全議員に報告した。本議会の所信表明の前に報告を考えていたが、抜かり、後日報告。本議会、副町長への質問ができないことや町民、職員にも負担をかけることをお詫びした。

行政報告とは別に報告すべき事項についても、しっかりチェックして議会に臨まなければならないと考えている。また、今後においては、町民へ報告すべき事項について、その報告の必要性や報告方法を十分に検討したうえで対応する。

その他の質問事項

- ・ 立木の剪定・伐採は
- ・ 老朽化した防犯灯および道路付属物について
- ・ 奥田川流域治水の進捗
- ・ オンデマンドバスは
- ・ スマートモビリティは

若者や女性施策の充実で定住増を 答弁し切れ目のない支援強化で定住 促進を図る



井上 敏雄 議員

濱田県知事は、令和7年度の人口減少対策に向け、「若者や女性に選ばれる高知」の実現に向けて、令和6年度創設した「人口減少対策総合交付金」の充実に回り、市町村の実情に応じた施策をしっかりと後押しするとのことだが、これを受けた対応は。

池田町長

町は、婚活、結婚新生活支援、出産・産後ケア、病後児保育の開設、高校生までの医療費の無償化など、切れ目のない子育て支援を行ってきた。

また、令和7年度から「子ども家庭センター」が開設されることや「県人口減少対策総合交付金連携加算型」を活用した、新たな支援事業の実施に向け準備中。

特色ある奨学金返還支援制度を、現在、若者27人が利用し、地域活力の一翼を担っていると認識する。

令和5年度は転出者より転入者増となり、今後も人口増となる施策への情報収集を行い、今まで以上に支援を強化し、女性を含めた若者が定住しやすいまちづくりを目指していく。

農作物の高温障害

耐性品種の普及は

井上議員

猛暑など、農作物は多大な被害を受け収入激減だ。耐性品種への改良や普及は。

尾崎産業経済課長

令和6年の農作物には、害虫の大量発生・高温障害など、前年よりも収穫量が半減した農家もあることなどで、いの町含む5町村・JA・県・農業振興センターで構成するコスモス行政営農振興協議会で、高温耐性品種など生産性の高い品目の研究を行っている。故に、専門機関と連携し新しい生産方式や、気候変動に耐える有益な品種の情報収集を行っている。

老人介護施設の

運営はいかに

井上議員

①仁淀清流苑の運営状況は。

②偕楽荘の運営状況は。

鍋島仁淀病院事務長

①仁淀清流苑では利用者増加を第一に、令和6年度は1日当たりの利用者数目標値を73人とし、積極的な受け入れを行っている。その結果6年11月までで1日当

たり74.3人と目標値を上回る実績となった。

しかし、清流苑の老朽化や、経費に占める人件費割合が高いなど、種々の運営上の問題点を抱えているが、まずは、引き続き利用者の増加に取り組んでいく。今後は、令和7年度予算編成に合わせ、具体的な運営改革の方針を検討する。

岡田偕楽荘所長

②偕楽荘の長期入所では、令和6年11月末時点の施設稼働率は98.4%で当初見込みよりも高く推移している。収入面では安定した運営である。支出面では人件費増や材料費の高騰など、今後もさらなる支出が見込まれ、厳しい運営状況が続くと認識している。

収入増加を図るため、施設入所待機者への受け入れ態勢整備と、サービス収入の確保を目的とし、長期入所定員をさらに5床増床する。

今後は、収入確保と併せて徹底した歳出削減を行い、効率的に運営の安定が

図れるよう努める。

町上水道の水質は 飲用して大丈夫か

井上議員

水道水に含まれる有害フッ素化合物は、残留性や蓄積性があり健康への影響が危惧されているが、町水道の水質は心配ないか。

川村上下水道課長

令和6年度に、各水道施設で水質管理目標設定項目に基づき水質検査を実施し、全ての施設で有害フッ素化合物は含有されていない。安心して飲用可能。

その他の質問事項

・森林空間の活用で癒やしの場と移住・関係人口策を

・多様性教育のあり方は
・個人競技で不登校対策を
・犯罪被害者支援条例を
・楮栽培への取り組みは
・企業会計と財政問題は
・タブレット普及問題は

伊野中央公園整備事業

質問Ⅱ計画と進捗状況、変更点は
答弁Ⅱ防災力強化や居住環境の向上を実施



森本 せつこ議員

町においては、防災・減災についての伊野中央公園整備事業が進められているが、計画と進捗状況、変更点は。

尾崎管財契約課長

伊野中央公園整備事業の主な内容は、防災力の強化として、マンホールトイレ、トイレの便座やパネルなどを収納する備蓄倉庫、防災かまどベンチなどの整備、そして居住環境の向上として、公園西側フェンスの改修新設、東屋、遊具の整備を行っている。

マンホールトイレについて

では、下水道へは直接接続せず、貯留するタイプのトイレを整備している。個別のトイレは10基の設置である。トイレの便器、パネルなどの備品類については、令和6年度の補助事業の対象にならないので、令和7年度に防災関連の補助事業により購入する計画としている。

計画時点との変更点としては、東屋2基の予定だったが、配置上、十分な広さを確保できないため、1基の整備としている。

進捗状況としては、マンホールトイレ、公園西側のフェンスについては整備完了となっている。東屋、防災ベンチ、遊具については、現在製品を発注しているところであり、令和7年1月中旬に納入予定。全ての工事完成は、令和7年3月となる見込みである。

認知症の予防

軟骨伝導イヤホン

森本議員

高齢者の「聞こえ」と生活を改善するため補聴器購入に補助はあるか。また、庁舎に軟骨伝導イヤホンを導入できないか。

金子ほけん福祉課長

認知症の要因の一つとして難聴が指摘されており、補聴器を用いることで認知症発症のリスクを軽減できる可能性が示されている。



伊野中央公園の整備の様子

町において、聴力機能の低下による閉じこもりや認

知機能の低下を防ぐとともに、高齢者の積極的な社会参加及び地域交流を支援し、もって高齢者福祉の増進を図ることを目的として、令和5年度より中等度難聴者を対象に補聴器本体の購入費の一部助成を行っている。

軟骨伝導イヤホンを装着することで、中等度難聴の高齢者に対し効果があるかどうかなど、耳鼻科医の専門的意見を聞きながら研究していく。

また、庁舎への導入については、すこやかセンターでは、同様の機能を持つ対話支援スピーカーを設置している。その他の庁舎についても、提案のあったイヤホンなども含め、高齢者の「聞こえ」に対する何らかの支援方法について検討する。

子育て支援 ひとり親家庭の支援

森本議員

こども家庭センターのサ

ポートプランは、相談者に対してだけ作成されるものか。ひとり親家庭として、日々の見守りや生活の相談はできないか。

金子ほけん福祉課長

令和7年度開設予定の「こども家庭センター」では、町内の子どもや子育て世帯への一体的支援を行うこととしている。主に、児童及び妊産婦の福祉や母子保健の相談、保健指導、乳幼児健診などの業務を担う。

サポートプランは、母子保健・児童福祉の観点から支援を必要とする人や、要保護状態・要支援状態に陥る兆候が見られ、予防的観点から早期の支援開始が児童の福祉に資すると考えられる人が対象となっている。

見守りが必要な世帯については、相談に応じて、関係機関・団体などと連携して調整するようにしている。子どもや子育てに関することで、相談窓口が分からない場合は、ほけん福祉課に相談してほしい。

町長の責務

伊野地区敬老会と用務

質問Ⅱ敬老会に出席できなかったのは
答弁Ⅱ旅程の変更が困難であった



森 みきお 議員

8年前の敬老会を思い出した。前町長の塩田氏は、選挙戦では敗退したものの、敬老会には参加し祝辞を述べ、立派に町長としての責務を果たした。

池田町長は、敬老会で祝辞ができなかったそれ以上の「用務あり」とは、どのように大切な用務だったのか。

池田町長

伊野地区敬老会は例年10月だったので確認したが、まだ確定してなかった。毎年11月は全国町村長大会などがあり、町村会から早い段階で日程表が回ってくるので、8月時点で航空券やホテルの予約を取り入れていた。

その後11月になって正式な敬老会の案内があったが、9日・10日はプライベートとして東京で過ごした。

森議員

プライベートということですが、本心が聞けなかったが、率直に私に聞こえてきたのは、敬老会の日に町長は、友だちと「東京デイズニールランド」に行っていた、とのことだった。実際はどうだったのか。

池田町長

先ほど答弁したように、旅程の変更が困難であった。

森議員

詳しい答弁はなかったが、祝辞を副町長にまかせ、プライベート用務を優先させるほど大切な用務だったようだが、町民からは、厳しい声が聞こえてくる。

『町民の生活に寄り添った、みじかな行政を推進する』町長の責務としての対応は。

池田町長

敬老会の日が確定した時点では、すでに東京出張が確定していたので副町長に依頼した。

せっかく案内があったのに、出席できなかったのは残念で申し訳ないと思っている。



出張旅費と用務

質問Ⅱ用務は公私混同
答弁Ⅱ公私混同ではない

森議員

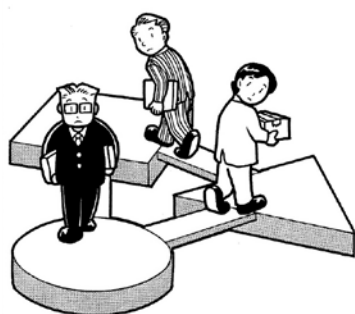
敬老会の数日前から東京出張していたようだ。出張旅費は往復のみで、泊はすべて自費のようだが、自費で泊なら翌日の本省回り用務は、プライベートとなるが実際はどうであったか。

その後も災害復旧促進全国大会前まで、すべて自費泊でありプライベートとなる。

池田町長

11月6日から21日までの東京出張の間、11月8日の宿泊費、9日、10日の旅費は私費対応とし、その他は公費を支出している。

途中のキャンセルはさまざまなことから簡単にはできなかったもので6日から21日まで、先ほど答弁したようにゆとり出張も含め東京滞在とした。このようなことから公私混同ではないと思っています。



のぞみ教室(25周年を迎えて)ありがとう 質問Ⅱ不登校の子どもへの支援体制の強化を 答弁Ⅱ重層的な支援の充実にさらに取り組む



池沢 のりこ 議員

のぞみ教室は、25周年を迎える。支援体制の強化における課題は。

黒瀬教育長

学習支援員は退職教員などで対応しているが、全ての教科の免許を有する指導員を配置することができない。

今後、児童生徒が希望する進路実現のための指導者の専門性の確保や、個別の学習支援の充実が必要だ。

池沢議員

学びの多様な学校開校(開設)とのぞみ教室とは、

どのようにつながるか。

黒瀬教育長

国は「不登校特例校」から「学びの多様な学校」に名称を変更した。児童生徒の実態に応じた新たな教科を新設するなど、特別な教育課程の編成が可能となる。分教室型を含め全国で35校設置(21校が公立)されている。

今議会に、奈良県と岐阜県の分教室型を視察する予算をあげている。今後、学びの多様な分教室を設置するとすれば「のぞみ教室」の機能の見直しや役割の明確化が必要となる。学びの多様な分教室の設置に向けた研究を進めていく。

つながる行政へと

池沢議員

町長三期目、具体的にどんな機構改革をするか。

池田町長

危機管理の充実を図る。

現実から逃げないで

池沢議員

副町長不在を行政報告しなかったのは、町長の政治姿勢が問われる。さらに、副町長人事に奔走すべき大事件期間(令和6年11月6日(21日)町長は、出張も含めて、東京へ行きっぱなしだった。

町長は、いの町・町民に、きちんと向き合わないのか。どこを見ているか。

池田町長

副町長人事が難航しており、大変申し訳ない。不在の期間を一刻も早く解消すべく、鋭意努力する。

料金値上げは、やめて

池沢議員

水道経営審議会が、令和6年8月に開かれている。水道料金については、町民の理解が必要では、突然の値上げにならないか。

川村上下水道課長

令和7年度に長期計画を策定し、令和8年度に経営戦略を策定する。料金値上げが必要となれば、諮問する。

あと5年で 貯金、底つくか

池沢議員

①令和6年11月財政収支見通しで、財政調整基金令和6年度末残高18億9465万1000円、令和11年度は、15億366万2000円(いの町は16億円必要)。減債基金年度末残高令和6年度20億6253万9000円、令和11年度5億749万5000円と一挙に減少するが、借金返済、償還が増えていくのか。施設等整備基金年度末残高令和6年度9億8734万2000円、令和11年度末2億4282万6000円と少なくなるのはどうしてか。

②この収支見通しには、一般会計から他会計への基準内・基準外繰り出しについての一切の記載がない。連動してない。偕楽荘への基準外繰り出しは、例年1億

円前後で推移、仁淀病院へは、令和6年度5197万円だ。これらの基準外繰り出しに伴う財政負担についての認識と今後のあり方は。

池田町長

①町税、地方交付税などの一般財源の減少が見込まれる。歳出では人件費、社会保障経費などの義務的経費や、その他の経費についても継続的に物価高騰により増加する。今後の普通建設事業から予測して取り崩し額は増加と見込んだ。

②偕楽荘・仁淀病院などは独立採算性の原則に基づき一般会計からの繰り出しを必要最小限とする予算編成を行う。

その他の質問事項

- ・PFAS検出、ないか
- ・ハラスメント
- ・偕楽荘経営改善の勧め
- ・仁淀病院経営さらに悪化
- ・コミュニケーション

町長の選挙公約

質問Ⅱ有権者に何を約束しているのか
答弁Ⅱ3期目の選挙公約は5点だ



浜田 孝男 議員

選挙公約は、選挙の候補者が当選後に実施すると有権者に約束する事柄だが、町長の3期目に向けた選挙公約と、山積する課題解決に向けてどのように取り組むか。

池田町長

選挙公約は5点だ。

①住み慣れたところで生き生きと生活を全うできる地域づくりをさらに進める。
・ゼロカーボンシティ、高速ブロードバンド整備により、関係人口や交流人口を増大させ、移住定住対策を推進させる。

・農福連携事業や重層的支援など、地域共生社会の実現やきめ細かな子育て支援を行う。
・より良い公共交通、移動手段を探り実施する。
②紙産業をはじめ商工業の活性化、農林業の振興を図る。

・官民連携まちなか再生事業、かわまちづくりの推進により、賑わいを創出する。
・農業者に対する独自の支援や、農産物のふるさと納税の返礼を通じたセールズ、森林環境譲与税を有効活用した林業振興、町の観光資源を最大限に生かして、関係団体との連携で流域観光や山岳観光の振興、オーバートーリズム対策など産業振興を図る。
③心かよう教育と誇りの高い文化の充実・推進を図る。
・子ども家庭センターの開設、保育施設の環境整備や学校トイレの洋式化、文化

芸術の取り組みとして、音楽の流れるまちづくりや書道文化の連携に取り組む。
④防災減災対策の充実と強化を図る。

・流域治水プロジェクトや、県内初となる都市の仮想空間データを幅広い分野で利活用し、防災減災の取り組みをさらに推進する。
⑤行政の公平性、公正性、透明性の推進を図る。

・入札制度の改正や情報公開制度など、各種施策を公平、公正に進め、透明化を図る。

課題は多く存在する。仁淀病院運営・少子高齢化や防災減災、地域経済の活性化など、課題が多いからこそ一つずつ着実に取り組み、町をより良い方向に進めなければならないと考えている。

課題解決や町発展のためには、行政だけでなく町民との協力が重要だ。町民と連携しながら課題解決に向けた取り組みを加速させていく。

小中学生に文化財学習の機会拡大を

浜田議員

地域にはさまざまな文化財があり、長年にわたり守り引き継がれている。小中学生の学習機会の拡大はできないか。

黒瀬教育長

地域の文化や伝統に触れるための体験活動が今以上に充実することで、子どもたちに生まれ育った町への愛着や郷土愛がしっかりと育まれるよう、今後とも各園・学校への支援に努める。

町営住宅の改築で地域の活性化を

浜田議員

高野ヶ谷団地の町営住宅で空きが出ています。地域の活性化や人口減対応として改築し入居者を募らないか。

が経過しており耐用年数を超過している。

今後、用途廃止後、人口増対策やニーズにより既存住宅を利活用するなど、地域の活性化に向けた若者の移住定住などの対策を検討していく。

中山間地の災害用井戸に補助制度を

浜田議員

中山間地の地震などの災害に備え、井戸の改修補助制度を創設し災害用井戸として確保しておかないか。

土居総務課長

災害時の生活用水の確保は、十分でない。現在、個人や民間が所有する井戸を災害用井戸として活用するための事前登録制度の導入を検討している。
復旧に関する補助金制度も検討が必要だが、まずは井戸の把握を進める。

その他の質問事項

・違約金徴収の見直しを

尾崎管財契約課長

この団地は建築から30年

不登校の子どもの居場所

質問Ⅱ校内サポートルームの増設は
答弁Ⅱ開設の要望も多いので、県へ要望していく



山崎 きよ 議員

不登校の児童・生徒が全国で34万人を超えた。本当に深刻な問題と考える。

町内の不登校の児童・生徒数は。

令和5年度から設置している伊野中学校の校内サポートルームの効果は。他の学校へも広げないか。

黒瀬教育長

町内の令和5年度に不登校を理由とした年間30日以上欠席者は、小学生が22人、中学生が25人の計47人。伊野中学校の校内サポートルームは、令和5年度から県教育委員会の「不登校

支援推進プロジェクト事業」の指定を受け実施。

効果は、①年度途中の新規の不登校生徒が減少した。②コーディネーター役の教員を配置したことで、域内の小学校や関係機関との連携が強化された。③サポートルームでの支援が進路保障につながったことである。



伊野中学校の校内サポートルーム

町教育委員会としては、校内サポートルームの成果・効果は大変大きいものと評価しており、県教育委員会にコーディネーター役の教員の増員・継続配置を要望していく。

マイナ保険証に不安 国に現行の保険証継続を求めないか

山崎議員

政府は令和6年12月2日にこれまでの健康保険証の新規発行を停止し「マイナ保険証」に一本化した。しかし、誤登録などの不安が解消できないため、利用率も低いままだ。
マイナ保険証と併用して従来の保険証を引き続き使えるよう、国に意思表示すべきでは。

池田町長

国会への「紙の保険証廃止の延期・存続法案」提出や現行の保険証を残してほしいという世論は理解でき

る中、町としても町民の事情に合わせていろいろな選択肢があつてよいものと考ええる。「誰ひとり取り残さない」ため、また、必要な医療が誰でも受けられるためには、マイナ保険証と現行保険証、資格確認書を併用していく必要性は認識している。まずは国会での法案の行方に注視していきたい。

空き家対策

住宅改修費補助、増額は

山崎議員

町の空き家対策補助は、住宅耐震改修等（上限270万円／戸）、住宅改修等（上限30万円／戸）、荷物整理（上限50万円／戸）があるが、「改修費用30万円では持ち出しが多い」という声がある。住宅改修の補助を引き上げることはできないか。

筒井総合政策課長

空き家の確保については、移住専門相談員が各地

区の区長を訪問して空き家調査を行っているが、活用できそうな空き家があつてもさまざまな課題があり、活用に至らない例が多くある。

費用面については住宅改修補助金30万円の引き上げは現在考えていないが、中間管理住宅整備事業の紹介もしながら、空き家活用の啓発、相談対応に力を入れていきたい。

期日前投票所 量販店での投票拡大を

山崎議員

投票率向上につながる量販店での期日前投票所の日数と箇所数増はできないか。

土居総務課長

現在、量販店での期日前投票を実施しているが、期日前投票期間の短い選挙では、日程や人員を考慮すると、これ以上の増設は困難であると考えている。

天王污水处理施設、

伊野浄水苑への統合事業について

質問Ⅱ進捗状況及び今後の予定は
答弁Ⅱ令和7年度工事完了予定



藤崎 憲裕 議員

令和6年3月議会にて質問をした統合事業については、令和4年度から工事に着手、圧送管の布設や天王污水处理施設内の改築などを順次実施し、令和6年9月からの供用開始を目指すとの答弁だった。

しかしながら、現在も工事中であり、伊野浄水苑への統合についても完了していないと聞いたが、現在の統合事業の進捗状況と今後の予定は。

川村上下水道課長

天王污水处理施設の伊野浄水苑への統合事業については、令和4年度より工事に着手し、令和6年9月からの供用開始を目指し、これまでに圧送管の布設全区間2579m、汚水圧送にかかると人孔の設置1基が完了した。

現在の状況としては、令和6年3月議会にて報告した機械器具設置工事と電気工事の計2件に加えて、天王污水处理施設の機器類の撤去及び汚水貯留槽の改築の工事を発注し、計3件の工事を実施しているとところである。

令和6年9月から伊野浄水苑へ汚水を送水する予定であったが、工事間の調整や天王污水处理場の建造物の中での工事ということもあり施工に苦慮し、当初想定より工事の進捗に遅滞が生じた。

当初の予定より3か月遅くなったが、令和6年12月6日に圧送管の圧送試験を行い、伊野浄水苑へ汚水を送水できることが確認できたため、令和6年12月16日から伊野浄水苑での污水处理を開始する予定である。

今後については、天王污水处理場内の機器を撤去し、不明水対策の貯留槽として運用するため、工事は引き続き実施するが、令和7年度の台風シーズンまでには天王地区の伊野浄水苑への統合に係る全ての工事が完了する予定。



伊野浄水苑



天王污水处理場

直接町民に所信を語る必要は 答弁Ⅱ意見交換を行い地域の発展に



山本 莊一郎 議員

町長が無投票で当選したが、全面的に信任されたと解釈すべきなのか戸惑いがある。

地域には、仁淀病院の赤字を問題視する声が多いが、高齢化と人口減少が進む地域での公立病院は、包括ケアシステムなどと補完しあった地域医療としての役割も大切だ。赤字だけにフォーカスし過ぎると地域医療の本質を見誤る。

町長は地域に入り「町政懇談会」などで町長の政治姿勢を明確に示すことや町民の声を聞く必要は。

池田町長

町民の付託により3期目の町政を担うことに責任の重さを感じている。

町民の小さな声、声なき声に耳を傾け寄り添う姿勢は「あたたかな町政」の根幹だ。

公約は「住み慣れたところで生き生きと生活を全うできる地域づくり」を掲げ、地域へ出向き、行政と地域の皆さまと意見交換を行い地域の発展と未来を探り具現化したい。

接遇の深化を

山本議員

町長はご自身の人生の中で先の展望が見えない苦しい介護も経験していると聞いている。それでも町長は行政の制度を十分に知りうる立場だった。

しかし、多くの町民はそ

のような立場ではなく、制度を十分に理解していない町民も多くいると思っている。そのような人々に対し、対応や接客とは違う「接遇マニュアル」を町は定めているが、十分に浸透していると考えているか。

池田町長

接遇においては「相手がどう感じたかを推し量り、満足を提供すること」が重要だ。その姿勢は浸透していると感じているが、接遇向上にゴールはなく、今後も研修などを通じて「あつたか町政」の実現に欠かせない接遇能力を伸ばす取り組みを継続する。

有事前提の法が

山本議員

令和6年6月に「食料供給困難事態対策法」という法が成立した。法には大規模災害や有事の場合には農家に対して「米やサツマイモなどを作れ」と命じ、「従わない場合には氏名を公表

し罰金を科す」と記されている。

だが「大規模災害」は付け足しだ。阪神淡路や東日本大震災でも、農家に作物変更を命じたことはない。想定しているのは食料の輸入が困難となる「有事」であることは誰の目にも明白だ。

法は戦前のように悪法でも法として独り歩きをするが、再び自治体と同じ過ちを犯してはならないが。

尾崎産業経済課長

農林水産省の資料では「不測の要因で食料供給が不足し、国民生活、経済に重大な影響が発生する恐れがある場合には、政府一体となり対策を講じる」とある。

食料供給困難事態対策法は、生産者に対して現に生産している対象品目の増産計画を届け出ることが求められるもの。

国の立ち入り検査を拒んだり、計画を届け出なかった場合に20万円以下の罰金となるものだ。

町は法の熟知を行い、業者が不利益を受けないよう、国や県、近隣市町村と連携し対応する。

伝統文化の継承へ

山本議員

いの大国さまの御神幸（おなばれ）及び古式神事は1990年に伊野町文化財の指定を受けている。その存続が人口減や高齢化で困難性が増している。地域の文化財を守るための人的支援は。

宮脇教育次長

町内文化財の修復などに特別な事情がある場合には、経費の一部を補助している。

人的な支援については役場職員にボランティアスタッフとして参加を呼びかけることは可能だ。

学校のトイレ改善を急げ、明るく清潔に 質問Ⅱトイレの自動水栓、洋式化を急げ 答弁Ⅱ伊野中、枝川小学校と順次取り組む



井上 正臣 議員

学校のトイレ環境の整備は、生徒たちの健康や学習での集中力にも良い教育支援策と考える。

また、デパート並みの明るく、清潔感のあるトイレに自動手洗い、自動水栓装置ともなればトイレの掃除をする者の気持ちも安らぎ、ストレスの解消にもなるのではと想像する。

現在の学校のトイレの配置について再考すべきことは、男子、女子生徒のトイレが隣接している点である。

児童・生徒の心は、非常に敏感で、些細なことでも

精神的なストレスを抱える
と教育心理学でもいわれている。
このことからトイレは、
それぞれ距離を置き、男
子、女子生徒のトイレの配
置や入り口を別々に設置し
ては。



枝川小学校

文部科学省の資料によると、和式トイレの方が、洋式トイレより、大腸菌が多いと外部調査結果を公表していることは、子どもたちの健康面においても無視できない。

先延ばしせず、早急な改善洋式化に取り組むべきでは。

宮脇教育次長

学校のトイレの洋式化率は小中学校合わせて、令和4年度末37.3%、令和5年度末42.9%、令和6年度末には48.7%となる予定である。

児童生徒数と洋式化設置数を勘案し、整備を進めているが、伊野中学校は3年計画で取り組んでおり、令和6年度末には南舎西トイレ、令和7年度に中舎と体育館トイレを改修する予定となっている。

その後に、枝川小学校のトイレ改修を計画している。

移住・定住の成果は

井上議員

町の人口減少は、資料によると転入より、転出者数が多い。また、出生数より死亡者数が多いことが分かる。いわゆる、社会構造的な社会減といえる。

移住・定住促進事業は、

過去5年で約1億7300万円の補助事業で取り組んでいるが、町内では、空き店舗の活用による移住者への家賃、店舗改修費補助などで、競争原理のなかでミスマッチも発生している。

町の発展は、移住者と在住住民が互いに住みやすい町、住んでよかった町、これからも住み続けたい町を目指す視点こそ重要と考えるが。

筒井総合政策課長

現在町では、人口減少の抑制、生産年齢人口の増加

を図り、町外からの移住者の増加を目的として移住相談や空き家調査の実施、住居の確保として、空き家の改修費用や荷物整理費の一部を補助する住宅改修費等補助金の実施、中間管理住宅整備など、移住・定住促進事業を実施している。

結果、移住者は、115人となっており、町としては、重要な事業と評価している。

今後も、人口減少対策や住みよい街づくりに向けて移住・定住促進事業に取り組んでいく。

地域おこし協力隊の活動評価、定住率は

井上議員

地域活性化に向け町内では、外部の人材を活用して、地域おこし協力隊員を本川6人、吾北1人、伊野地区2人を委嘱し活動している。

活動内容と定住率やその評価は。

筒井総合政策課長

過去5年間で、それぞれの地域で課題に取り組んだ協力隊員の委嘱人数は24人である。

そのうち、委嘱期限後では、現在18人が町内に定住し、地域活動に参加し重要な役割を果たしている。定住率は75%である。

まちづくり

質問Ⅱ官民連携によるまちなか再生の手立ては
答弁Ⅱ低未利用地を有効に活用する



福井 英人議員

町長のまちづくりに対する思いは。

池田町長

スーパーや病院、診療所、金融機関などの都市機能施設を集約し、公共交通や徒歩、自転車でアクセスしやすい範囲で、居住を誘導するコンパクトシティの実現を目指している。

市街化区域では、中心市街地やJR伊野駅周辺を「中心拠点」、枝川、天王、波川地区など国道・県道沿線を「生活拠点」と位置付け、それぞれの地域に応じたまちづくりを進めている。

市街化区域内の拠点に、すでに立地している商業施設や医療施設が、人口減少と少子高齢化の進行に伴い「中心拠点」や「生活拠点」から撤退する可能性も懸念している。

これらの課題に対応するため「中心拠点」において、都市機能の充実を図るとともに、官民連携によるまちなか再生事業を推進することとで「住んでみたい」「住み続けたい」と思えるまちづくりを進め、人口密度の維持に努める。

福井議員

トライアル・サウンディングとは、行政が保有する土地や公共施設を、民間事業者が一定期間、実際に利用して事業を行い、その施設の利用可能性や事業の収益性などを検証する、社会実験の様な取り組みだ。この取り組みによる現時点で

の実績と、今後の取り組み方針は。

尾崎土木課長

まだ実施期間中であり、実例が2件と少ない。実施のサンプルを増やす観点から、期間の延長や制度を見直し引き続き令和7年度も実施の考えだ。

また、以前より開催されている「イノベーション」などとも、連携に向けた調査や検討をしていく。

福井議員

どうなれば、にぎわいが創出され活性化が進み、ま



官民連携まちなか再生事業の対象エリア

ちなか再生が達成されたといえるのか。

池田町長

にぎわいの創出や地域の活性化を図るには、普段使用頻度が低い低未利用地を、民間事業者や地域団体が主体となり、有効に活用することが重要だ。

以前の公共空間の活用は、公共空間へ物を作ってから、使用する方法などを考え運用していたが、現在は、小さな社会実験を繰り返し、公共空間を民間事業者とともに活用しつつ、住民・民間のプレイヤー目線で問題点・課題点を整理している。その上で、必要な箇所については整備などを進める事例が多くある。

今後も、地域住民や関係者と密に連携するとともに、関連する各課が協議しながら、具体的な施策を着実に進めていくことが、まちなか再生達成への道のりだ。

福井議員

「住んでみたい」「住み続

けたい」をまちづくりの視点とするなら、まちなか再生にこだわらず「生活拠点」がより住みやすくなるように、並行し注力することが人口増につながるのでは。また、エリア外の町民からも、関心が持たれるように取り組みの周知も必要だ。そのためにも、分かりやすいゴール設定が必要では。

池田町長

人口減少や高齢化が進む社会において、人口維持が重要な課題であると考えている。

一方で、将来的な人口減少が避けられない現状を見据え、まちづくりの方針として「中心拠点」の空洞化を防ぐ「まちなか再生」を重点的に取り組む必要があると認識している。

今後、いの町らしい暮らしの形を明確に示すため、町内外の住民にとって居心地が良く、歩きたくなる空間や滞在したくなる環境の創出を、分かりやすいゴール設定としてイメージ図を作っていく。

Society 5.0

質問Ⅱ現場主体の教育は
答弁Ⅱ主体性と確かなビジョンを持って教育・
保育を牽引する



大原 りえ 議員

学校教育情報化推進計画の一部として、GIGAスクール構想を活用予定とのことだが、何年度をめどにしているのか。

また、この中で日本はSociety 5.0の到来に向けた児童生徒の資質・能力の育成を目指しているとある。社会の流れとしては理解するが、そこをベースにした教育が正しいかはもう少し慎重な議論が必要では。

現にデジタル先進国であるスウェーデンは紙の教科書への回帰が進んでいる。デジタルテキストに慣れた

世代であっても、デジタルテキストの読解力が高くなるわけではないことが研究結果として示されている。

日本でも、脳科学の視点からデジタルの文章は「(情報として)見る」もの。紙に書かれた文章は「(五感を働かせて)読む」ものと言われ、紙の質感を感じて読むことの大切さも研究されている。

子どもが初期に触れる社会は何のためにどこへ向かっていくか明確である必要があり、情操教育や人格形成を育むのが最優先である。

現場で児童生徒を見つめる教師の意見をしっかりと聞き、国の方針に振り回されない、現場主体の教育は。

黒瀬教育長

令和6年度から令和8年度の3か年の計画として、「いの町学校教育情報化推

進計画」を策定。

本計画は国の「学習指導要領」・「GIGAスクール構想」・「令和の日本型学校教育の答申」、県の「第4期高知県教育振興基本計画」及び「いの町第2次振興計画」などを参酌し策定。

急激に変化しつつある現代社会で、子どもが自分の良さを認識し、他者と協働して、持続可能な社会のつくり手となるよう、資質・能力を育成する必要性を教員の多くはSociety 5.0という言葉とともに理解していると認識している。

また、令和3年1月の中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」は、今後の教育の方向性を示したもので、国はその提言に沿って新たな施策や次期学習指導要領の改訂に取り組んでいる。その中に、情操教育や人格形成に大きく関わってきた、知・徳・体を一体的に育む日本の学校教育の良さが触れられている。

一方、これまでの教育は知識の暗記などに比重がお

かれ、個性の伸長や主体性の育成などが課題といわれている。

日本型学校教育の良さを継承しつつ、「個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実する」必要があり、その学びを支える基盤の一つが情報活用能力である。

このような国・県の教育の方向性をしっかりと見定めながら、これからの社会を生きる子どもに必要とされる資質・能力が身につくよう、町として主体性と確かなビジョンを持って教育・保育を牽引していく。



Wi-Fi環境の現状と課題は

大原議員

家庭や教育現場でのWi-Fi環境の現状と課題は。

黒瀬教育長

Wi-Fi環境が整備されていない家庭へのモバイルルーターの貸与は令和5年度から行っており、令和5年度は7件、令和6年度も現在まで7件。

課題として、学校で一斉にネットワークに接続する際、通信の不安定さがみられる場合があり、その都度、原因を調べ、改善を図っている。

その他の質問事項

- ・ GIGAスクール構想健康への影響

- ・ 仁淀川

- より魅力的な景観に観光シーズンの対応
- ・ 保険証のこれから
- 資格確認書

「議会だより いの」表紙などに掲載する写真を募集します

応募資格：いの町在住の方

注意事項：撮影場所はいの町内

白黒・カラーとも可

オリジナルの未発表のもの

締め切り：1月、4月、7月、10月の5日

応募方法：メールによる応募

gikai@town.ino.lg.jp

詳細はいの町議会ホームページをご覧ください



八田地区から大内地区をのぞむ



傍聴者の声

- ・一部の質問内容が低レベルで「一般質問」に値しないものがあった。（「一般質問」しなくても、もっと執行部と情報交換しておれば事前に了承できたのではないかな？）執行部の答弁にも感激するものが少なかった。議員も執行部も、もっと勉強すべきだと感じた。傍聴者を増やす努力をすべき（執行部も議員ともに）。いの町の課題、問題を少し知ることができた。（80歳代）

「議会だよりいの」は、
資源保護のため再生紙
を使用しています。

発行

高知県いの町議会

TEL 088-893-1134

FAX 088-893-1125

発行人 議長 筒井 公二

編集 議会広報特別委員会

印刷 (株)高知新聞総合印刷

議会を傍聴してみませんか

町民の皆さまの暮らしにかかわる施策などが決められる大切な議会です。

3月定例会は、3月初旬にいの町役場本庁舎で開催の予定です。

皆さまのご意見をお寄せください

TEL 088-893-1134 FAX 088-893-1125

Eメール gikai@town.ino.lg.jp